

配布先：安全技術応用研究会 会員各位

発行：2017年8月21日

<h1>第16回月例関西会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	事務局長 畑	関西委員会委員長 安井

日 時：2017年8月10日 13:00～17:30

場 所：IDEC 株式会社 本社ホールA

出席者：8名（法人会員：5社（5名）、個人会員：3名）

1. 定例報告

1) 臨時総会の情報共有(企画運営委員会)

- ・臨時総会の内容・結果に関して説明がなされた。
- ・臨時総会の正式な議事録は、事務局から後日発信予定。

2) 情報トピックスについての補足

- ・特になし。

3) 企画運営委員会補足

- ・特になし。

4) 関西月例会・関西委員会活動報告

- ・今回、東京月例会での報告は無し。

5) 研究テーマ報告 「機械安全の国際規格の動向、他」

- ・東京月例会で発表された内容について、報告された。
- ・MTTFd、B10d、T10dなどの考え方、PL計算の流れ・概要について説明された。
- ・A,B,C規格という分類はISO規格を対象にした呼称で、IEC規格にはない。
- ・中小企業向け産業ロボット・ボイラーの機能安全教育資料などは公開される予定。

6) 討議テーマ「現状のリスクアセスメントの問題・課題に関する討議」

— サブタイトル：危険源同定手法の研究 — （6月からの継続）

- ・東京の月例会で発表された内容について、報告された。
- ・TI法は、ユーティリティ等エネルギーが供給される部品を視点に、危険源の同定を行う。位置エネルギーなどの潜在的なエネルギー、地震などの環境的なエネルギーなどは含まれておらず、別の方法での同定が必要。
- ・用語はISOで規定された用語と統一すべき。
- ・来月以降も継続して議論する。

2. 月例会（関西地区）の討議事項

- ・今年度から安応研に参加することになった3名が、「自社・自身の現状」、「安応研にて学びたい事／やりたい事」等を発表し、意見交換を行った。
- ・ハウステンボスで起こった“バンジージャンプのワイヤー切れ事故”に関して、意見交換を行った。

3. その他

1) 関西月例会配付・発表資料

資料番号	資料名
291-2-1	「ISO/TC199・IEC/TC44 機械安全の国際規格の状況・厚生労働省の最近の機械安全に関する活動」
291-2-2	リスクアセスメントの考察(危険源の同定)

2) 月例会開催予定

- ・ 東京地区(月例会)： 8月25日（金）10:00～ 品川区(きゅりあん5階 第2講習室)
- ・ 関西地区(月例会)： 9月 8日（金）13:00～ 新大阪(IDEC 本社)

以上

以上